

ドイツ第三帝国の ソ連占領政策と民衆 1941—1942

永岑三千輝 著



1 問題の視角と限定——両大戦とドイツ史の連続・非連続…………… 3

はじめに 3

一 ヒトラー・ナチ体制の基本戦略とその随伴現象——ヒトラーにおける民族・国家・経済 5

二 戦時下の基本戦略と民衆統合 13

三 抵抗・体制変革の内的・主体的条件の限界と改革構想の狭小性 15

2 ポーランド占領政策の展開と独ソ戦…………… 27

一 占領政策の基本的発想——ドイツ民族至上主義とその諸側面 28

二 ドイツ民族強化策と強制労働 50

三 占領政策の諸側面と独ソ戦開始までの民衆意識の諸形態 60

3 ソ連占領の基本構想と諸目標…………… 81

- 一 バルバロッサ指令の背景 81
- 二 開戦直前の構想と指針 89
- 三 開戦一カ月後の占領方針と民政体制の構築準備 121
- 四 独ソ戦開始直後の民衆意識の諸形態 137

4 電撃戦戦略の挫折と開戦後半年間の占領実態 185

- 一 占領権力の確立と「ユダヤ人」虐殺 185
- 二 電撃戦の挫折、人的・物的消耗状況の拡大と占領政策 206
- 三 「冬の危機」とドイツ民衆の意識 229

5 総力戦体制化と占領政策 263

- 一 一九四二年年頭からヴァンゼー会議開催当時の民情 264
- 二 新たな大攻勢と占領地工業の活用 287
- 三 食糧の絶対的逼迫と占領地農業の活用 304

6 総力戦遂行・民衆統合と弱小民族の段階的抹殺 325

- 一 総力戦化にともなう窮迫状態と民衆の意識 325
- 二 危機の深化と弱小の民族・民衆の段階的抹殺 348
- 三 一般ロシア人大衆の酷使・衰弱死の自覚的方針化——ドイツ民族至上主義の極限 362

むすびにかえて——戦後ドイツ史への展望 377

あとがき 383

人名索引 388

事項索引 398